

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：2月第二週目）

- 1 完全米ドル化の動きが速まる
- 2 クロス経済学者、米ドルの完全廃止を求める
- 3 3億2,790万米ドルの海外直接投資（FDI）を記録
- 4 赤道ギニアで農業分野への参入機会を探す
- 5 ジンバブエ中央銀行（RBZ）、現金の引き出し上限額を（カテゴリー毎に）引き上げ
- 6 ジンバブエの債務が200億米ドルに近づく
- 7 アデシナ・アフリカ開発銀行（AfDB）総裁、チサノ元モザンビーク大統領と債務及び延滞債務金解消について協議
- 8 金貨導入の成果
- 9 鉱業分野、3万人の雇用創出
- 10 政府、（通貨）流動性管理委員会を設置
- 11 ワンゲ火力発電所 Unit 7 の始動
- 12 ビキタ・ミネラルズ社によるリチウム生産量増加でリチウム生産大国へと近づく

1 完全米ドル化の動きが速まる（7日付、ニュースデイ紙）

ジンバブエ統計局（Zimstat）による最新の統計によると、現在食品の購入の際に、その78%が米ドルもしくは南アの通貨ランドで取引されていることから、ジンバブエ経済は完全米ドル化へと進んでいる。第8回急速な貧困、収入、消費、支出調査（PICES）によると、食料品購入におけるわずか21%のみがジンバブエドル（ZWL）取引されている。

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200007167/zim-gallops-towards-full-dollarisation>

2 クロス経済学者、米ドルの完全廃止を求める（10日付、デイリーニュース紙）

クロス経済学者は、貧困層人口の生活水準を引き上げるためには、ジンバブエは米ドルを廃止する必要があると主張する。国内での米ドル流通量の増加は、国の製造業分野を破滅させているうえに、必要とされていないジンバブエドル（ZWL）の崩壊を良いことに膨大な利益を得ている詐欺師や投機的行動をする者にとっては最良の環境を生み出していると述べた。

報道リンク：<https://dailynews.co.zw/rogues-having-a-ball-cross-warns-urges-country-to-dump-greenback-affirm-zim-dollar/>

3 3億2,790万米ドルの海外直接投資（FDI）を記録（8日付、フィナンシャル・ガゼット紙）

2022年、ジンバブエへのFDIは、2021年の2億3,750万米ドルから増加し、3億2,790万米ドルを記録した。経済分析家は、FDIは増加したが、ジンバブエ国内のビジネス環境は産業界にとって優しくない指摘し、アフリカ地域では最も低い投資量であると述べる。

4 赤道ギニアで農業分野への参入機会を探す（10日付、ヘラルド紙）

ムナンガグワ大統領は、3日間の赤道ギニアへの訪問を終え、二国間の農業分野での協力を進めていくためにマスカ農業・土地・水産・水・地方再定住大臣が赤道ギニアを再訪するだろうと述べた。また、ムナンガグワ大統領は、ジンバブエは西アフリカ諸国（赤道ギニア）での農業生産品の成長を目指しているとし、冗談を交えながらもジンバブエ側外交団に対して、「植民地主義者にならないよう気をつけるように。」と述べた。

赤道ギニアの農業分野は、GDPのわずか2%のみを占めており、耕地は約28万4,000ヘクタールと国土の10%を占めている。

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-to-explore-agric-openings-in-e-guinea/>

5 ジンバブエ中央銀行（RBZ）、現金の引き出し上限額を（カテゴリー毎に）引き上げ（10日付、ヘラルド紙）

RBZの金融インテリジェンス部門（FIU）は、現金引き出し上限額を、個人の引出については週あたり5千ZWLから1万5千ZWLに、企業については週あたり2万ZWLから10万ZWLに引き上げると発表した。病院やクリニックについては、月あたり50万ZWLに、地方自治体については月あたり100万ZWLに引き上げられた。

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/rbz-increases-cash-withdrawal-limits/>

6 ジンバブエの債務が200億米ドルに近づく（10日付、ニュースデイ紙）

ムナンガグワ大統領の大統領諮問委員会（PAC）議長を務めるモヨ氏は、ジンバブエの債務が190億米ドルに到達したとし、昨年12月に発表された172億米ドルよりも急増していると報告した。

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/business/article/200007227/zimbabwe-debt-hurtles-towards-us20-billion>

7 アデシナ・アフリカ開発銀行（AfDB）総裁、チサノ元モザンビーク大統領と債務及び延滞債務金解消について協議（11日付、インディペンデント紙）

2月末に、アデシナ AfDB 総裁とチサノ元モザンビーク大統領は、当国を訪問し、ジンバブエの債務及び延滞債務金解消のための主要取組事項について協議を開始させる。2022年9月時点で、ジンバブエの公的債務は、176億3,000万米ドルであり、うち6億7,076万米ドルが AfDB への債務金である。2月7日には、昨年12月時点では7億

5, 000 万米ドルと発表されている。

報道リンク：<https://www.theindependent.co.zw/local-news/article/200007277/afdb-chief-to-meet-mozs-chissano-over-zim-debt>

8 金貨導入の成果（13日付、ヘラルド紙）

ムナンガグワ大統領は、ジンバブエ中央銀行（RBZ）により導入された金貨は、これまでに2,750万米ドル相当の売り上げを記録し、経済回復促進に繋がったと述べた。これまでに28,000枚の金貨が売られ、222億 ZWL 相当が市場から吸い上げられたとし、市場における通貨流通量の減少にも繋がったとされている。

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/gold-coins-a-masterstroke/>

9 鉱業分野、3万人の雇用創出（12日付、サンデーメール紙）

2021～22年の間、鉱業分野での企業による新たな投資や事業拡大が続いていることから、3万人の雇用を創出した。また、2022年の輸出総額は54億米ドルを記録し、2017年の27億米ドルの二倍となった。ジンバブエ鉱業商工所は、今年はさらに4千の雇用を生み出すと予測している。

報道リンク：<https://www.sundaymail.co.zw/mining-sector-creates-30-000-jobs>

10 政府、(通貨)流動性管理委員会を設置（12日付、サンデーメール紙）

政府は、市場における余剰通貨をコントロールするため、RBZ 職員と財務省員から構成される通貨流動性管理委員会を設置した。

報道リンク：<https://www.sundaymail.co.zw/govt-sets-up-liquidity-management-committee>

11 ワンゲ火力発電所 Unit 7 の始動（14日付、ヘラルド紙）

13日、ジェーム・エネルギー大臣は、ワンゲ火力発電所の機材全てのテストが順調に進んでおり、発電システムの始動に向けて最終段階にあり、今月中にも国内送電網に300 MW が加わる予定であると述べた。

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/hwange-7-synchronisation-in-progress-300mw-set-to-be-added-to-national-grid/>

12 ビキタ・ミネラルズ社によるリチウム生産量増加でリチウム生産大国へと近づく（14日付、ヘラルド紙）

中国企業シノマイン社が昨年ビキタ・ミネラルズ社を買収し、そのペタライト生産量を増加させるために2億米ドルの拠出をしたことから、ビキタ・ミネラルズ社は、その生産量を年間6万トンまで増加していく。これにより、ジンバブエのリチウム生産国としての国際的地位が固まることとなる。直接及び間接的な雇用の創出や外貨獲得量増加をとおして、国内

経済をさらに刺激していくと期待されている。

ムワンザ・ビキタ社マネージャーは、「ペタライトは、4 %のリチウムを含む鋳石である。これらはビキタ社で製錬され、ガラスや、キッチン用品及びガラスボトル等を生産するセラミック産業界で使用される。ビキタ社でも選鉱プロセスは行われており、ペタライトは今日の国際市場にあるガラスやセラミック製品の約15 %を占める。」と述べた。

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-becomes-lithium-giant-as-bikita-ramps-up-output/>